

省エネ アイデア部門

案1★

以前に総務部主催の環境保全プロジェクトに応募して、入賞させていただいたのですが、全く実現していないので再度提案させていただきます。

いかに省エネを実現するか…1人1人の意識が非常に大切です。しかしながら、いくら掲示しても呼びかけても効果がなかなかあがらないのが現状で、デスクが東館2階で教室の正面にあることから、

◆電気のつけっぱなし

◆空調入れっぱなし

◆窓や扉を開けたままでの、21℃位の強い冷房

◆広い教室に1・2名いて、寝るための空調 等

目にあまるものがあり、いたちごっこをしています。

この教室でこのような実態なのであれば、本学の多くの教室でも同じようなことがされていると想像されます。

そこで、これを解消するには、システムやセンサーによる制御に越したことはないのですが、設備投資にお金がかかります。

“じんかい戦術”として、学友会の学生さん達に協力を求め、上記のような教室があったならば、電源を切ってもらったり、最後に退出する人に声をかけてもらったりして、皆で無駄な電気等を切るようにし、光熱水費が前月分（もしくは前年同月分）より下回ったならば、その差額もしくは一定の金額を学友会活動で使用できるように渡す。どうせエネルギー会社に支払わないといけない費用なのでそれを学内で循環させ、学友会活動を活発にしながら、省エネ意識も植え付けていくというのはいかがでしょうか？

特に、設備投資も不要なので、すぐにでも実行できると思うのですが…

案2★

生活環境学部事務室のように東向きの部屋で、風が抜けるところがない部屋では夏の朝の室温でも30度近くになって、クーラー28度設定しても室温は30度位です。窓に遮熱のフィルムやインクを塗ることによって、ある程度軽減できると思いますが…

案3★

“エコ調査隊”を結成し、定期的に学内を回り注意を促して指導する…

事務局 仲市美由紀
アイデア部門-NO.3